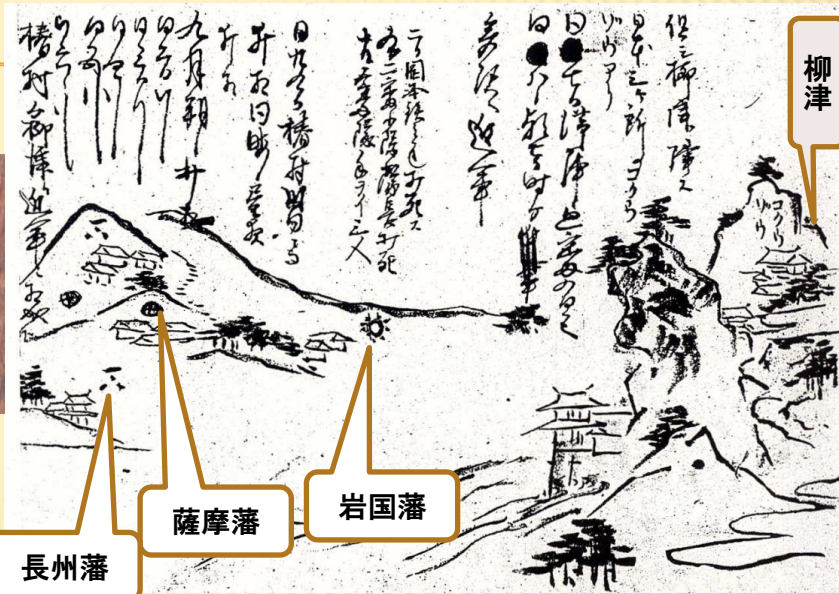


戊辰戦争、柳津での戦い

1868年8月29日から9月8日まで



菊光堂南側にある戊辰戦争時の弾痕跡。一定方向の向館から撃たれている。



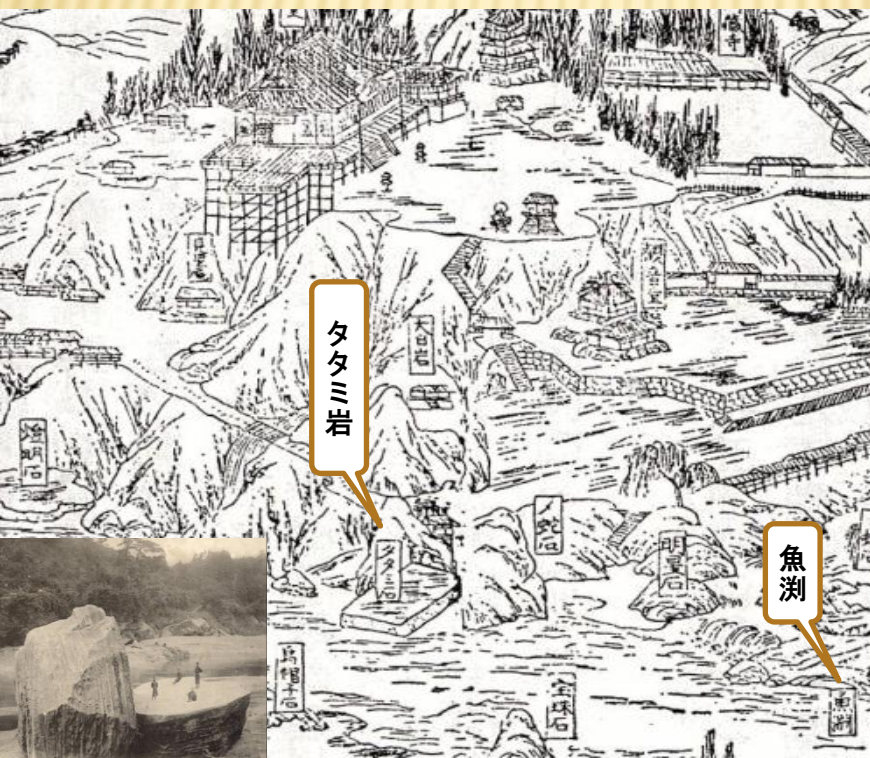
長州藩

薩摩藩

岩国藩

長州藩支藩、岩国藩・吉川家の少年兵が書いた『建尚隊覚』に描かれている記録。慶応4年(1868)8月29日、柳津に新政府軍の長州藩、薩摩藩、土佐藩、肥前藩らが進軍して戦いとなる。絵図には、対岸の向館に長州藩、岩国藩、薩摩藩の旗印が描かれている。対岸の「向館跡」から銃撃された弾丸の跡が堂の南側に多数残されている。

柳津の僧侶が、白装束で並び、旗を振り、撃たないように懇願し、焼失はまぬがれたとされている。



タタミ岩

魚淵

八月二十九日、樺村、川向ニテ打相

晦日、昼夜打相

九月一日、打合

二日〜五日、同ジ

六日、同ジ、樺村ヨリ柳津へ進軍相成候

但シ柳津陣ス、

日本三所のコクウゾウ(虚空蔵)アリ

七日、滞陣、廻番有之

八日、朝七ツ時(四時)ヨリ多沢へ進軍